

都道府県別指導体制状況(令和7年3月31日現在)

※GAPについて、高い水準で指導できると推定される指導員数(指導に必要な知識を習得するための研修を受講し、3件以上の指導実績がある者の数)

(単位:人)

都道府県	指導員数
北海道	383
青森県	141
岩手県	55
宮城県	14
秋田県	47
山形県	197
福島県	289
茨城県	237
栃木県	74
群馬県	20
埼玉県	118
千葉県	49
東京都	50
神奈川県	22
山梨県	15
長野県	121
静岡県	125
新潟県	94
富山県	56
石川県	167
福井県	62
岐阜県	122
愛知県	177
三重県	239
滋賀県	42
京都府	104
大阪府	29
兵庫県	68
奈良県	20
和歌山県	18
鳥取県	4
島根県	93
岡山県	14
広島県	14
山口県	51
徳島県	30
香川県	66
愛媛県	79
高知県	67
福岡県	177
佐賀県	66
長崎県	24
熊本県	68
大分県	122
宮崎県	135
鹿児島県	29
沖縄県	77
合計	4,271

出典：農林水産省農産局農業環境対策課調べ（都道府県から聞き取り）